

平成 30 年度 第 3 回「生活支援基礎研修」

平成 30 年 7 月 5 日に、東京駅近くの貸会議室プラザ八重洲北口にて、一般社団法人全国軽費老人ホーム協議会平成 30 年度第 3 回「生活支援基礎研修」を開催しました。今回の研修には全国 8 ブロックから 37 名の施設長、生活相談員、介護職や事務員の方々が参加されました。

講義内容は「軽費老人ホームの制度の歴史と変遷」、「軽費老人ホームにおける現状の理解」、「コンプライアンス・リスクマネジメント」、「入居者支援や地域支援の在り方」、「先駆的実践事例の紹介」、「今後の軽費・ケアハウスの展望」と題して、6 つの講義が行われました。

受講者からは、「今年から異動でケアハウスに配属されて、ケアハウスのことがわからず仕事をしていましたが、受講して理解することができ、職場に持ち帰って実践することができます。」といった感想や、「ケアハウスに配属されて随分経ちますが、制度の歴史の理解や地域支援のあり方について、改めて深く理解することができました。」といった声を頂き、とても好評でした。

ご参加いただいた皆様には、改めて軽費・ケアハウスの歴史と現状を正しく知る機会となり、先駆的実践事例や他施設の活動などが今後の施設運営の参考になればありがたいと思っています。

また、生活支援基礎研修ではこれからも多くの社員の皆様に関心を持って頂けるよう、軽費・ケアハウスに特化した研修を続けて参りたいと思います。今回受講していただいた皆様、どうも有り難うございました。

参加申込が予定をオーバーして、一部の参加希望者にはお断りをさせていただきました。申し訳ありませんでした。来年度も開催を予定しておりますので、次回は是非ご参加ください。

<講義風景>



真下 美由起 弁護士による「コンプライアンス・リスクマネジメント」



川西理事長による
「今後の軽費・ケアハウスの展望」



質疑応答



川西理事長より受講者に修了証が渡されました。